

---

# 彼女はタイに行くらしい

並盛りライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

彼女はタイに行くらしい

### 【Zコード】

N6108B

### 【作者名】 並盛りライス

### 【あらすじ】

彼女はタイに行くらしい。僕を置いて行くらしい。

痛いのは嫌だから僕は曖昧に頷いた。

彼女はそれが気に入らなかつたらしく。

叩いた。

僕が謝ると、それも気に入らなかつたらしく。

蹴つた。

それでも僕が、彼女に対する何らかのアンチテーゼを提唱する事はない。

彼女は満足したように頷くと、予定通りに行動した。  
ならば最初から、自分の思つたやつにやつたら良いのに、とは言えない。

スキー旅行はキャンセルである。

彼女はタイに行くらしい。

二人分の旅費で、彼女だけ行くらしい。

僕は若干、嫌な顔をしたらしく（彼女に言わせれば）  
「嫌なら良いのよ」

何が良いんですか？

「嫌じやないよ」

「じゃ、決まりね」

タイに何があるというのだろうか。

「本当に僕を置いていく気？」

聞いてみる価値はある。

「お土産は何が良い？」

当然のよう無視です。

「何でも良いです」

彼女はそれが気に入らなかつたらしく。

叩いた。

僕が謝ると、それも気に入らなかつたらしく。

蹴つた。

「お土産は何が良い?」

「彼女はタイに行くらしい。」

「木の仏像とか?」

「重い」

「伝統的な縄織物は?」

「重い」

「重いだろ?」

「タイつて何があるの?」

「お箸、とか?」

「お箸ですか。」

絶対にお箸を買つてくる気だな。

「他には?」

「お箸でいいじゃん。軽いし」

「そうですか。」

「じゃあお箸でいい?」

「じゃあって何よ。せっかく何が良いか聞いてるの?」

「タイのお箸が欲しい」

「本当に?」

「ああ面倒くさい。」

「ホントに欲しいよ」

「彼女はタイに行くらしい。」

「お金は?」

「旅費は半分出しました。」

「何の?」

「お土産よ。買つてきてあげるんだから」

「千円位?」

「私の分も合わせて四千円かな」

「一本千円のお箸を買つてくる気か?」

「今、お釣りが無いの。五千円札でいいわ」

お釣りが無いって言つといて？

「あ、千円札三枚と五百円玉が一枚あった」

「彼女はそれが気に入らなかつたらしく。

叩いた。

僕が謝ると、それも気に入らなかつたらしく。  
蹴つた。

「五千円札でいいわ」

僕はしぶしぶ五千円札を渡す。

「じゃ、体に気をつけて」

「見送つてくれないの？」

「行くよ」

「別に来なくもでいいけど」

「行くつて」

「じゃあ明日、家の前まで車で来てね

「何時に？」

「午前四時に」

「何時の便に乗るの？」

「九時半だったかな」

「じゃあ早すぎだろ」

「準備と化粧があるし」

「当日に準備？」

「手伝つてね」

「化粧を？」

はつ、声に出してしまつた。

「もちろん準備よ」

「彼女はタイに行くらし！」。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6108b/>

---

彼女はタイに行くらしい

2010年11月23日07時01分発行